

テーマ「人形浄瑠璃」で挙げられた課題		テーマ「関西の食文化」における対応と方針(案)					
テーマ	取組等のアンケート結果	施策(案)	期待できる効果	アウトカム指標	実現性	実現のための課題	
はなやか関西～文化首都年～及び各取組参加団体の活動の認知度向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>このような取組があるのを全く知りませんでした。もっと広報して下さい。</li> <li>うまく宣伝できれば有効な取組だと思う。続けて下さい。</li> <li>日本の伝統文化を守るため、もっと宣伝することが必要だと思う。予算に関しては、募金活動なども考えられては？</li> <li>Facebookで拝見していますが、本日の催しは友人が声をかけてくれなければ知りませんでした。PRが足りないのでは？</li> <li>ツイッター仲間でも話題にのぼらず、知っていれば参加したかった方が他に多くいるように思います。宣伝が足りないのでは？素晴らしいイベントだけに残念です。</li> <li>もっと広報して欲しい。児童、生徒への普及。</li> <li>「はなやか関西～文化首都年～」の取組は今回初めて知りました。なかなか本格的な内容で興味深かったのですが、世間に知れ渡っていないと思います。とてももったいないことです。</li> <li>こんな取組が一般には全く知られていない。</li> <li>広報に力を入れて下さい。もっと集客できるはず。</li> <li>今回、このような企画があることを初めて知った。2013の企画etc.に参加してみたいと思った。</li> <li>地域の自治体での回覧板で催しのお知らせをすとか、もっと努力すべき。</li> <li>関係者の方は熱心に取り組まれていると思いますが、あまり知られていない。</li> <li>興味の無い人をいかに興味を持たせて取り組むことができるのかが必要だと思う。</li> <li>今回のようなテーマでフォーラムをどしどし企画して欲しい。</li> <li>公式ガイドブックやホームページ、フェイスブック、交流会等において各地の取組状況や課題を知ることができ、良い刺激を受け、自らの地域の活動についても見直すきっかけとなった。</li> <li>関西特に大阪で「本物の文化」に対して興味のある方が少ないように思われます。ちょっと楽しいきっかけがあれば見る気になる、それが何なのか考えるようなテーマはどうでしょうか。</li> <li>「本物」が分かる二はかなりの経験と年月が必要だと思うが、理解が難しくても若いうちから本物の文化に触れるための行政なりの応援が必要ではないか。</li> <li>もう少し大衆化して裾野を広げる方法を構築する必要があると思う。ストーリーももっと短く工夫したものがあったらよいのでは？</li> </ul>	公式ガイドブック作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はなやか関西」の認知度向上</li> <li>「関西の食文化」に関する情報に加え、観光情報としても利用が見込まれ、広域的なツーリズムによる経済波及効果の可能性が見込める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各取組参加団体施設等への来場者数</li> <li>シンポジウム等におけるアンケートによるはなやか関西及び関西の食文化の認知度向上の確認</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効活用するため、配布先を戦略的に検討する必要がある。(例)図書館、雑誌社、旅行社、テレビ局、新聞社等</li> <li>部数の増刷</li> </ul>	
		公式ガイドブック簡易版リーフレット作成・イベントカレンダーの制作		<ul style="list-style-type: none"> <li>「はなやか関西」及び「関西の食文化」に関する共通プラットフォームとしての活用。</li> <li>利用者のリアクションが確認できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各取組参加団体施設等への来場者数</li> <li>シンポジウム等におけるアンケートによるはなやか関西及び関西の食文化の認知度向上の確認</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効活用するため、配布先を戦略的に検討する必要がある。(例)公共交通機関、観光案内所、道の駅、SA、川の駅、構成機関窓口(文化・観光含む。)</li> <li>部数の増刷</li> </ul>
		「はなやか関西～文化首都年～」公式Facebookページの開設	<ul style="list-style-type: none"> <li>Facebookページの「いいね！」の登録者数</li> <li>取組参加団体HP等のアクセス数</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>シニア層の取り込み</li> <li>公式Facebookページへの誘導方法、IT・WEB利用者の働きかけ(公式Facebookページを著名人等に紹介してもらう等)</li> </ul>	
		アドバイザー体制の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信・広報に強みを持つ有識者からの助言・協力によるプロモーション面での発信力強化</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組参加団体施設等への来場者数</li> <li>シンポジウム等におけるアンケートによるはなやか関西及び関西の食文化の認知度向上の確認</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報手段の経済的負担(極力少なくする)</li> </ul>
		構成機関等の参加促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロモーション面での発進力強化</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>府県広報誌等への掲載件数、観光団体のサイト等とのリンク数</li> <li>各取組参加団体施設等への来場者数</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報手段の経済的負担(極力少なくする)</li> <li>掲載時期の調整</li> </ul>
		シンポジウムの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>「関西の食文化」のゆかりに対する認知度向上</li> <li>関西の食材や料理に対する売り上げ増加</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンポジウム来場者数</li> <li>アンケート結果(満足度・認知度)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報手段、会場借り上げ費等の経済的負担(古典の日や記紀万葉のフォーラム等との協力を検討)</li> </ul>
		シンポジウムのパネリストを著名人に依頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>話題性によるシンポジウム来場者数の増加</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンポジウム来場者数</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>出演料等の経済的負担</li> </ul>
地域振興・経済波及効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>町を歩きながら、じっくり話を聞くことが出来て良かった。</li> <li>実際に人形を使って、人形の説明をしてくださったり、普段見ることができないところが見れて良かった。</li> <li>ツアーでしか体験出来ないことを充実させる。</li> <li>お弁当を食べながら人形浄瑠璃を観ることができて良かった。</li> <li>バスの中での解説が詳しくて分かりやすかった。</li> <li>地域密着型が素晴らしい。</li> <li>舞台となっている地域を歩いて(バスも可)巡るツアーをして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有料ツアーの実施(各地の食やゆかり地をめぐるツアー・プレミアムを付加したツアー・物語性のある広域的なツアー等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツアー参加者数</li> <li>アンケート結果(満足度・認知度)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>付加価値の創造、現地案内人の確保、移動手段、料金設定、他機関・経済団体等との連携ができれば、ツアー数の増加が見込める。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>各取組団体へのツアー、または広域的なツアー等について、旅行雑誌等への掲載依頼を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌掲載数</li> </ul>	△			
学生の参加促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子旅の提案は実現できそうな「文楽ゆかり地訪問ツアー」で大変良いと思いました。女子旅と若い女性の発信力に着目した点素晴らしいです。</li> <li>南淡中学校の実演素晴らしかった。</li> <li>南淡中学校の実演最高に良かった。</li> <li>学生の発表は楽しめた。</li> <li>斬新なアイデアが光る研究発表会でした。南淡中の皆さんが上手なのは、とても感心しました。</li> <li>学生さんの若いやわらかい発想の人形浄瑠璃を広めるに当たっての内容が面白かった。</li> <li>中学生の皆さんが一生懸命演じているのを見て心打たれた。</li> <li>若い人たちが真剣に取り組んでいるところが良かった。もっとメディアに取り上げて貰いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の企画・運営による有料ツアーの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい視点・発想による地域密着型ツアーの実現</li> <li>新たな観光商品の造成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案数</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の授業スケジュール等</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>学生会議の実施</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場借り上げ費</li> <li>学生へのインセンティブ</li> <li>学生の授業スケジュール等</li> </ul>		
インバウンド観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本文化の理解が深まった。日本の歴史について知識を強固された。</li> <li>これまで触ったことのない人形に触れて嬉しかった。本日の見学を通じて、本当に日本、或いは日本文化への理解を深めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他機関や経済団体主催の領事館フォーラム等のテーマとして、また各取組とフォーラム等をタイアップさせてPR</li> <li>「KANSAI国際観光YEAR2013」の取組とタイアップさせてPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本国にPRしてもらうことによるインバウンド効果</li> <li>外国人の関西文化ファンの創造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果</li> <li>各取組参加団体施設等への外国人来場者数</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>通訳者の確保</li> <li>他機関、経済団体等との連携により、費用負担の担保できれば、開催数の増加が期待できる。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ツアーへの留学生の参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツアー参加者数</li> <li>アンケート結果</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>通訳者の確保</li> <li>留学生負担軽減のための経済的負担</li> </ul>		